

工工四の読み方 初心者編

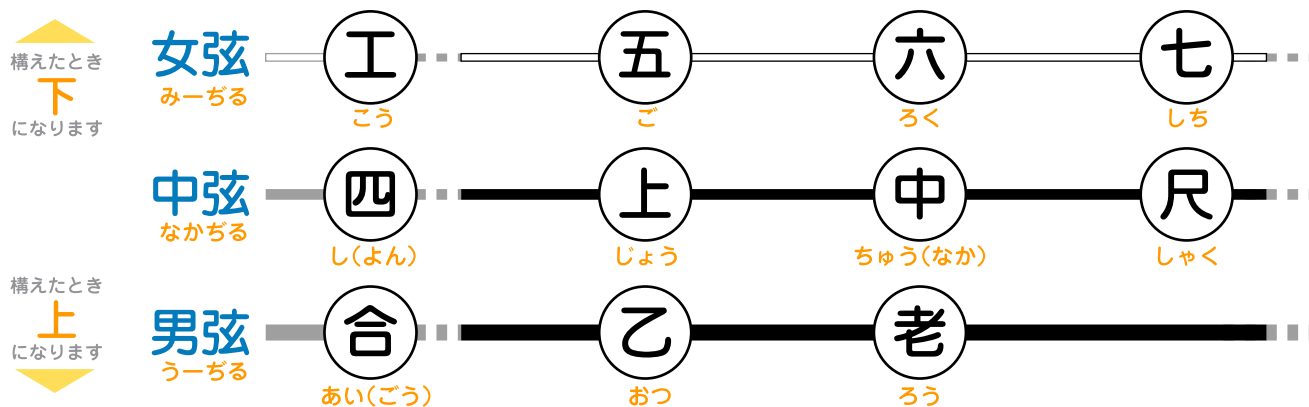
©2009 沖縄三線Net

このシートは三線初心者の方のために、あくまで一般的な知識を掲載したものです。教室・研究所によってはこのシートとは異なる場合がありますのでご了承ください。

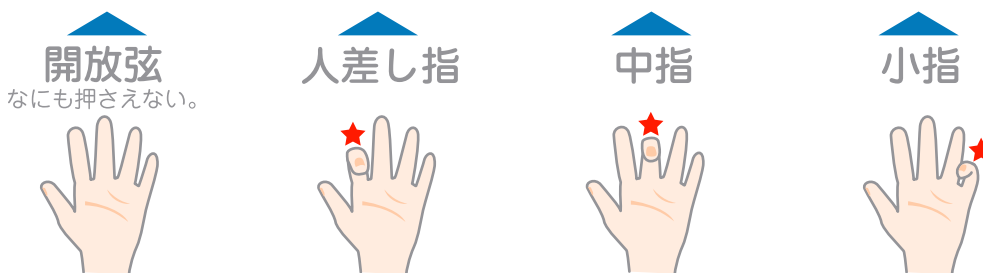
三線の譜面のことを**工工四(くんくんしー)**と言います。
まずは、工工四の読み方を覚えましょう。



実は、このあたりにも
押さえる場所がありますが...
まずはこれだけ覚えれば大丈夫！



左手の
この指を使って
押さえます。



★覚え方のコツ etc...

- (合) (乙) (老) (四) (上) (中) (尺) (工) と弾いてみて、「ドレミファソラシド」のように聞こえれば正解！
(※本調子の場合)
- はじめは工工四を見ながら、「なか、こう、しち…」と口に出しながらゆっくり弾いてみましょう。
- 「一番上の弦(男弦)の人差し指は乙」…というふうに考えると覚えやすいでしょう。
- 曲によっては、押さえる位置が変わることがあります。
特に「尺」は半音ほど高い(=右へ少し移動する)場合がよくあります。
- 押さえる位置を棹に貼っておく「工工四ステッカー」というものが売られていますので、なかなか覚えられない方は試してみましょう。
慣れたら手元を見なくても弾けるように！

制作: 沖縄三線Net

<http://okinawa-sansin.net>

工工四・CD・三線関連グッズなどの情報はこちら

